

日交研シリーズ A-711

平成 28 年度自主研究プロジェクト

「新興国の都市公共交通システムの推進課題に関する研究」

刊行：2018 年 3 月

新興国の都市公共交通システムの推進課題に関する研究

A Study on Promotion of Urban Public Transportation Systems
in Developing Countries

主査 中村 文彦（横浜国立大学教授）

Fumihiko NAKAMURA

要 旨

本プロジェクトは、新興国および途上国大都市を対象に、都市交通システムの中の公共交通を主な対象として、その動向を調査研究したものである。対象としているアジア諸国、中南米やアフリカなど新興国地域全般での、バスなど都市公共交通の政策領域について、改善策や新規インフラストラクチャーの導入推進に関する研究を行う。本年度は、特に BRT や軌道系交通機関、それらのフィーダーシステム、バスターミナルなど交通結節点施設に着目、東南アジアや南米の都市を主たるフィールドとして、マネジメント施策、施設導入施策の推進にかかる課題を検討した。

研究活動の中では、バンコクの BRT の現状と課題、ベトナム大都市のバスターミナル周辺の賑わい形成にかかる課題、東南アジア各国のパラトランジットの課題、ホーチミンでのスマートフォンを用いたライドシェアシステムの動向、ジャカルタの BRT の現状および利用者向けスマートフォンアプリの動向、ブラジルのクリチバでの電動バス実験などの新しい動き、コロンビアのメデジンの LRT（トランビア）開業の影響、南米および東南アジアの BRT に関する文献整理、ベトナムのバスターミナル周辺の賑わい形成、ベトナムのハノイの郊外開発と交通サービスの関係などを取り上げた。

本報告書では、スマートフォンサービスの概況、ベトナムのハノイ郊外開発と交通サービスの関係、ベトナムでのバスターミナル整備状況、コロンビアのメデジンのトランビア導入前後の沿線への影響について、とりまとめた。

キーワード：新興国、都市公共交通、ハノイ、メデジン

Keywords：Developing Countries, Urban Public Transportation, Hanoi, Medellin,